

新児童生徒の入学前に就学援助金の支給を



竹原 祐一

竹原 就学援助金制度については、何度も議会の中で改善を言っているが、来年に向け新入学の児童・生徒に就学援助金の入学前の支給の実施はできないか。

日田教育課長 阿蘇市では、現在検討を行っています。例年、4月以降に申請手続きを行い6、7月に支給する形ですが、入学前に学用品を支給する為には、保護者に2回、申請をしていただき、更に、所得証明でも2回の手続きが必要になりますが、今回、マイナンバー制度が導入されましたので、保護者の負担軽減を図る為にマイナンバーを記載していただく事で所得証明の添付を簡略化できるように、今年度中にシステム導入を計画しています。このシステム4月以降に稼働しますと、新入学予定分については来年予算措置が出来れば31年度の入学予定者から対応が可能になりますが、今後諸課題を整理しながら検討を進めて行きたいと考えています。

国民健康保険税 確定時期は

竹原 先月、県から今回の国保制

度改革に伴う保険税査定が県から示されたが、公表は

藤田ほけん課長

仮係数による試算で未確定の要素が多く、今後大きく変わることも予想されることから、公表は控えさせていたが、

竹原 平成30年度国保税の確定は

藤田ほけん課長 12月末に国から

標準係数が提示され、1月に県から確定係数が提示され、この結果を受けて、阿蘇市国保運営協議会にお諮りし税率改正について検討することになります。その結果に基づき、3月市議会に条例改正案を上げさせていたたく予定としています。

他に「宮地牛舎建設中止を」、「復興基金の取り扱いについて」、「応急仮設住宅の調整について」等の質問がありました。



一の宮小学校入学式

畜産クラスター事業を問う



河崎 徳雄

河崎 畜産クラスター事業は農家の収益向上になる。許認可の整合性、また農振法で農地を畜舎にする手続きは。

佐伯農政課長

用途区分変更で所定の手続きを踏まえ事務処理が完了しております。

河崎

農地転用で隣接農地の同意承諾は必要か。

園田農業委員会事務局長

転用許可は必要ですが隣地の同意承諾は不必要で合法です。

河崎

建設予定地を含め、行政は合法の判断だが、移転を求められる申請、7、446名の署名が市長に提出された。協議会で情報を共有し、市民の心配不安に伝えて欲しいが。

佐藤市長

住民から7、446名の重い署名を頂きました。関係機関に確認を取り、当然尊重していかねければなりません。

復興基金（創意工夫分）の活用について

河崎

復興基金創意工夫分で市の約4、4億円を活用し、被災住民の

要望に添えて欲しい。余震等で発生した農地復旧の対応を。
佐伯農政課長 土地改良区等と協議し、要望内容を検討して参ります。

JR代替バスについて

河崎

JR代替バスの利便性を図り、また、転出等の人口流出を防ぐ為にも対策、対応を。

市原教育部長

代替バスは平日、土曜の運行で、日曜祝祭日は運行されていません。このようなことから高校生を対象に産交・大分バス会社共同運行のやまびこ号の利用助成を検討しています。利便の向上に努め、受験生となる中学3年生を始め、関係機関、利用者に説明会等を実施し、周知を図ります。3月議会に予算等を計上したいと考えています。



阿蘇市が進める農政改革とは



高宮 正行

高宮 主要作物種子法が平成30年より廃止になるが、民間が種子の供給をしていくのか、県の圃場が残って国の事業を存続していくのか、種子の供給がどのように変わっていくのか。

佐伯農政課長 平成30年4月1日に廃止され、それを受けて民間の参入また海外からの参入が見込まれています。国の機関や都道府県の機関は民間と連携し研究開発が行われていくと聞いています。

高宮 今後の種子の流通ルートは、**農政課長** 現在、経済連等々で流通され、地域の特性を生かした種子の開発が無くなっていくのが懸念されます。

高宮 今後も地域の特性活かす種子生産を推進していくよう協議を進めていくよう要望し、減反政策廃止の影響について伺う。

農政課長 本年度で廃止となり、県としては生産数量目標に替わって「作付目安」を、各地域の農業再生協議会に示されることになります。なお、経営所得安定対策の交付金は

今まで通りで、米の直接支払交付金のみ減反政策同様、廃止されます。
高宮 平成30年度までは産地交付金は変わらないが、今後どのように変化していくのか。

農政課長 主食用米や主要作物の作付け影響は少ないと思います。市農業再生協議会で水田フル活用ビジョンを策定しており、主食用米をはじめ、転作作物毎に目標数値が設定され、本計画に基づき推進して参ります。

高宮 農業者の減少の中で新規就農者や後継者などが農業経営に意欲を持って取り組める支援策は、
農政課長 営農においては、収益性をどう求めていくかが課題であります。既存の支援制度や市独自の支援策を十分に浸透・活用し、経営面での支援を図ります。



田園風景

畜産クラスター事業、牛舎建設(移転要望)対応と対策



田中 則次

田中 7千名を超す移転署名の要望者が提出された。市民の不信を煽った事は、新聞紙上で「市が誤認」という大きな見出しだったが、当事者である市の見解は。

吉良経済部長 この記事は遺憾に思っている。協議会、県で実施された現地確認の内容は私どもには知らされておらず、また、変更通知も無いような状況です。今後とも真実を明らかにして真摯に対応して参ります。

田中 協議会は「振興局から市町村への参加依頼や要請は無かった」、県は「協議会から依頼するのは当然」また、農政局畜産課は「申請前に周辺住民の理解を得るのは当然」三者三様で整合性が無い。責任のなすり合いで、住民の気持ちを考えていない。協議会の一貫した考えの無いことで問題が生じている。古神、東、分区の市民を中心に不信、不満が頂点に達し、昼夜を問わず何とかして

くれの連呼です。今後の対応としての窓口は。

経済部長 協議会事務局はJAであり、市は協議会の構成員になっています。最終的には事業の承認決定機関である県になると思われます。

田中 県が窓口で市も協議会の一員であるのなら、住民が満足出来るよう解決を求める。

経済部長 県が認定者ということで、知事宛に解決を求めています。

市長 事実確認を踏まえ、県に要望書を提出しました。それぞれ責任のある立場の方が真剣に話し合い、一つ一つ確認し方向性を見出したいと考えています。



急がれる災害対応マニュアルの作成を



谷崎 利 浩

谷崎 震災の時、各区長から状況や対応が伝わってこないという苦情があった。停電時でも避難所でお知らせ端末が使えるように発電機を指定避難所に揃えたらどうか。

村山総務課長 今は投光器対応の発電機を11台確保しており、災害発生時には持つて行くようにしています。常設の本格的な発電機は高価ですので、慎重に検討してまいりたいと思います。「知らせますケン2」は停電時でも情報配信できるようになっています。

谷崎 被災後、市の職員に負担が集中することが課題だが、南海トラフ地震のような広範囲の災害の場合自衛隊が駆けつけることが出来ない場合も想定しておかないといけない。避難所を自主運営にもっていく考えはあるのか。

総務課長 自主的に開設された避難所は、そこの方々が自分のところの米、ガスコンロあるいは発電機を持ち寄って運用していただき本当に助かりました。そういった活動が促

進されますよう今後啓発に努めて参ります。

谷崎 自主避難所から指定避難所に物資を取りに行っても分けてもらえなかった。物資の流れも形を作らないといけないと思われるが。

総務課長 指定避難所にはそこにいる方の数の分だけの物資しか有りません。分けると無くなります。拠点となる施設から直接か、指定避難所が中継点となってその周辺地域の数を把握するような仕組みを考えていかなければならないと考えております。

他に「区長からの情報収集」、「車中泊避難者の把握」、「災害弱者への対応について」等の質問がありました。



熊本地震発生後の避難所

高校生通学JＲ代替バスの利便性向上は



市 原 正

市原 現在の代替バスには、いろいろと問題があると思うが、教育課の認識する現在の問題点とその対策は。

市原教育部長 現在運行中の代替バスは、ご指摘のとおり利用者には不便なところがあります。まず、宮地から大津町へは平日8便、土曜日は3便。大津町から宮地は平日7便、土曜日は4便。日曜祝祭日は運行されていません。また、時間帯も朝夕に集中し、昼間の運行は無い事等から、早い段階から県に改善を要望しておりましたが、なかなか対応いただけなかった状況です。そこで、今回その対策として県から阿蘇市に配分される復興基金を活用し、阿蘇市独自の支援策として財政課とも協議を行い、来年度から高校生を対象に「やまびこ号」の利用補助を計画しています。

市原 対象の高校生の数等の把握は出来ているか。

教育部長 教育課の調査結果では、

大津方面に150名程度、赤水から、宮地方面に50名程度です。

市原 来年度からになると、現在の中学3年生も対象になるが。

教育部長 当然、現在の中学3年生も対象になります。通学保護者会等とも連絡を行い、しっかりと周知を図って参ります。

市原 財政課と協議をしているとのことだが、財政課の意見等は。

教育部長 本事業に復興基金を活用することは、財政課、県も理解をいただいています。3月議会には議案として提出できるよう準備を進めます。

他に「野焼きについて」、「ふるさと納税について」等の質問がありました。



やまびこ号